

平成30年4月1日付人事異動発表にあたっての教育長コメント

平成30年3月20日

平成30年4月1日付の教職員の人事異動にあたっては、平成29年3月に改訂した「高知県教育等の振興に関する施策の大綱」及び「第2期高知県教育振興基本計画」の目標達成に向けた取組をさらに推進するための人員配置を行った。

特に、学力課題や生徒指導上の諸問題の解決を図り、学校目標を達成するために、リーダーシップを発揮して「チーム学校」を推進することのできる人材を管理職として登用するとともに、教職員については、それぞれの能力を最大限に発揮し、組織的・協働的に取り組んでいけるよう適材適所の配置に努めた。

まず、チーム学校の構築のさらなる推進を図るために、中学校において、同一教科の教員のチーム化を図る教科の「タテ持ち」の研究を進めるための指定校を19校から31校に拡充するとともに、小規模中学校における教科の枠を越えた組織体制や授業力向上の仕組みについても継続して研究を進めていくこととした。

また、小中学校においては、教員の働き方改革の重点モデル地域を引き続き指定し、教員と学校事務職員の効率的な役割分担のあり方等についての研究をさらに進めていくこととした。

さらに、学力向上の歩みを確実なものとし、また、次期学習指導要領への対応を行うため、「主体的・対話的で深い学び」「図書資料や新聞等を活用した授業づくり」についての研究を行うモデル校や、「小学校の英語科」「特別の教科 道徳」等の研究校を指定し、研究推進のための教員を配置した。

高等学校においては、県の重点課題である「学力の向上」及び「社会性の育成」に向け、学校経営計画に基づいた取組が強化されるよう、中山間地域を中心に専門力を有する教員の配置に努めた。

特別支援学校においては、児童生徒それぞれの障害の程度に応じた教育的ニーズに対応するため、障害種別の専門性を有する教員配置を行った。

厳しい環境にある子どもたちへの支援の一層の徹底に向けて、小中学校及び義務教育学校においては、不登校の予防と支援に向けた体制の強化を図るとともに、いじめ防止等の取組を総合的に推進する研究校や地域を指定し、推進リーダーとして教員を配置した。

グローバル教育をさらに推進していくために、平成30年度に開校する高知国際中学校に、国際バカロレアに関する資格を有する教員及び国際バカロレア認定校において研修を積んだ教員を配置した。

これらの取組を支援するため、県教育委員会事務局においては、高知市と協働した学力向上に向けた取組や、高等学校支援チームによる授業改善等の取組を強化することとした。

また、教員の働き方改革に向けた取組の推進や、いじめ問題や不登校対策等の諸課題への対応を充実させるとともに、高知大学教職大学院との連携を図るための人員配置を行った。

さらに、「2020こうち総文」の開催に向けた取組を本格化させるとともに、新図書館等複合施設「オーテピア」の開館に向けた体制整備を図るための人員配置を行った。

平成30年4月1日付の人事異動総数（事務局を含む。）は、昨年度比159名増の2,531名であり、そのうち、管理職への登用者は137名、新規採用教職員は、昨年度比43名増の334名となっている。